

【情報公開文書(オプトアウト文書)】

金沢大学附属病院における超音波プローブ汚染状況の実態調査 とプローブ消毒装置導入の評価

なお、この研究は、倫理審査委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2025 年(承認日)～2029 年 12 月 31 日に金沢大学附属病院で超音波検査を施行したうち、検査に使用されたプローブに関する情報が対象です(検査後のプローブから微生物を調べますが、患者さんの情報や検体は使用しません)。

2. 研究の概要

研究課題名：金沢大学附属病院における超音波プローブ汚染状況の実態調査とプローブ消毒装置導入の評価

研究期間：承認日 ～ 2030 年 3 月 31 日

目標数：約 500 検体(全体)

本研究は、金沢大学附属病院における超音波プローブの消毒後の汚染状況を調査し、従来の消毒法と新たに導入される消毒装置の有効性を比較することで、院内感染対策の改善に資する科学的根拠を得ることを目的としています。

3. 研究の目的・方法について

超音波検査に使用されたプローブ表面を検査終了後に拭き取り、細菌の有無を調べます。プローブから得た拭いサンプルのみを使用し、患者さんからの試料や情報は取得しません。得られたデータをもとに、プローブの消毒法ごとの衛生状態を評価します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：超音波プローブの拭いサンプル

情報：使用されたプローブの種類、消毒方法、診療科など(個人を特定する情報は一切含みません)

5. 外部への試料・情報の提供・公表

拭いサンプルは株式会社ミロクメディカルラボラトリー(埼玉県)へ委託し、細菌検査を行います。匿名化され、個人を特定できない状態で取扱います。研究成果は学会・論文等で公表する場合がありますが、個人が特定されることはありません。

6. プライバシーの保護について

本研究では個人情報収集しません。すべてのデータは匿名化され、個人を特定できない形式で管理されます。研究結果の公表においても、個人が識別されることはありません。

7. 研究組織

研究責任者：金沢大学附属病院 検査部 部長 金森 肇

研究分担者：同 副部長 森 三佳、同 副臨床検査技師長 中出 祐介

共同研究機関と研究責任者：ナノソニックスジャパン株式会社（役割：滅菌機器の提供・技術協力）研究責任者：片桐 伸悦

研究に関する業務委託先：株式会社ミロクメディカルラボラトリー 埼玉ラボ（試料検査業務の委託）

8. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

本研究はナノソニックスジャパン株式会社より滅菌装置および検査費用の支援を受けていますが、研究の実施・結果・解釈に影響を及ぼす関係はありません。研究担当者は、金沢大学の利益相反審査を受け、承認を得ています。

9. 研究に関する窓口

研究責任者

金沢大学附属病院 検査部 金森 肇

〒920-8641 金沢市宝町 13 番 1 号

TEL：076-265-2000（内線 7153）